

浜松市文化財情報

発行：浜松市文化財課

浜松市中区元城町103-2（本庁6階）

TEL：053-457-2466

FAX：053-457-2563

Mail：bunkazai@city.hamamastu.shizuoka.jp

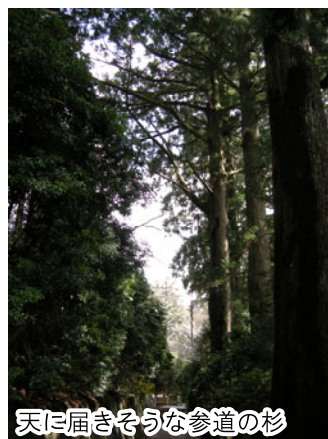
Vol. 36
2011/3/15

川名のひよんどり（国指定無形民俗文化財）

悠久の時間と圧倒される生命力に癒される～春埜杉～



※写真は、所有者と樹木医の立会いのもと、特別に撮影したものです。



天に届きそうな参道の杉

山門までたどりつき、展望テラスに身を置くと、主は、穏やかに、そして、他のスギとは次元の異なる圧倒的な存在感で、私を待っていてくれました。

主の名は、春埜杉（春野スギ）〔静岡県指定天然記念物：昭和27年4月1日指定〕。

県内最大級、屋久杉にも匹敵する国内有数のスギの巨樹で、高さおよそ48m、根元の周囲およそ13m、枝張りは東西におよそ30m、南北におよそ40mに及びます。樹齢はおよそ1300年ともいわれ、行基菩薩が大光寺開山の記念に植えたという伝えがあります。

しばしばの落雷にも耐えて斜面にそびえるその雄姿には厳格さが漂い、自然への畏敬の念を感じます。

見た人は、誰もが感嘆の声を上げ、そして声を失い、感動に満たされることでしょう。

◆共存するために

春埜杉は、樹勢について大きな問題点はありませんが、周辺環境の変化に不安がありました。ここ数年、その存在が広く知られるにつれて見学者等が多くなり、急斜面上にある春埜杉の根元周囲に見学者等による踏み道ができ、一部根の露出や損傷が見られるようになりました。また、地盤の関係で付近の石積階段の安全性にも問題があることがわかりました。

そこで、春埜杉の保全と見学者等の安全性に対する不安を解消するため、山門からの通行を禁止するための柵を設置しました。また、寺院庫裡の西側から春埜杉を觀賞するための展望テラスを新たに設けました。



山門の柵



展望テラス

以前のように、触れられそうな距離から春埜杉を見ることはできなくなりましたが、悠久の時を超えて存在するその姿の前にすれば、あまりに力強いその生命力に誰もが癒されることでしょう。

（春埜杉は、新・浜松の自然100選にも選ばれています。）

◆空につづく道の果てに…

春というのに冬に逆戻りしたように風が冷たい日、春埜山の山頂につづく長く急な道を急ぐ。途中、特別天然記念物のカモシカの「歓迎」を受け（目が合った途端、逃げられてしまったが…）、空につづく道を急ぐ。

徐々に景色が水平になり、標高800mの山頂に着いたことを教えてください。

大鳥居をくぐり、春埜山大光寺に到着すると、まず最初に見事な大きさのスギの木が出迎えてくれます。「これだ！」と一瞬思ってしまいますが、いえいえ、主はその先100mに。



入口の杉も見事です

◆誰もが感嘆の声を上げる

参道を進むにつれて空気がさらに凛としてきます。参道にも天まで届きそうなスギの大木が何本も見られます。どの木も主であってもおかしくないものばかりです。

「姫街道の歴史と歩き方講座」を開催しました

今回で3年目となる本講座では、第1回(2/19)に姫街道(本坂通り)の歴史について、文化財ブックレット『姫街道を歩く』や基本史料である「本坂通宿村大概帳」などを用いて説明しました。第2回(2/26)では、姫街道沿線の市民活動団体が連携した「姫街道連絡協議会(姫街道未来塾)」が実施した「姫街道フォーラム」や「姫街道検定」等の活動について、ご紹介いただきました。また、三ヶ日町郷土を語る会からは、文化年間に、伊能忠敬が測量調査で三ヶ日を訪れた際の日記を紹介していただきました。引き続き、フィールドワークの予習として、高山宿から本坂峠を越えて三ヶ日宿にいたるまでの史跡や文化財について説明しました。



第1回講座のようす

第3回(3/5)は、フィールドワークとして、姫街道の最大の難所である本坂峠に挑戦しました。高山宿(豊橋市高山)から本坂峠までは1時間の上り坂です。付近では伐採が行われており、高山一里塚が良好な状態で見学できました。本坂峠から、ちょうど咲き頃の椿原生林をとおり、約1時間の坂を下りました。本坂峠付近では浜名湖や富士山が眺望できました。以後、本坂の旧道、橘神社、華蔵寺等を見学しながら、三ヶ日一里塚まで歩きました。当日は好天に恵まれ、往時の姫街道を偲びながらの本坂越えとなりました。

今年は姫街道連絡協議会主催の行事も盛りだくさんとのことです。みなさん、ぜひ、そちらにもご参加ください。



第3回フィールドワーク

文化財日記抄

2月には、こんな調査活動などを行いました。

2日(水)	東区恒武町 静岡市葵区	恒武(山の花)遺跡群試掘調査 歴史的建造物の保全・活用に関する研修会
3日(木)	西区坪井町 ~南区倉松町	海岸駐車場清掃
4日(金)	北区細江町	川久保遺跡試掘調査
10日(木)	東区葉新町 天竜区春野町	天竜公民館木船廃寺跡遺物展示 [~2/20] 勝坂神楽伝承状況聞き取り調査
12日(土)	東区葉新町	天竜公民館講座
16日(水)	浜北区	第3回文化財保護審議会(文化財調査)
19日(土)	北区細江町	第1回姫街道の歴史と歩き方講座
20日(日)	天竜区水窪町	西浦の田楽伝承状況現地確認 [~2/21]
22日(火)	南区小沢渡町	八幡山遺跡試掘調査
23日(水)	東区中郡町	橋爪遺跡工事立会
26日(土)	北区細江町	第2回姫街道の歴史と歩き方講座
28日(月)	天竜区二俣町	二俣城試掘調査開始 [~3/9]

■文化財保護審議会にて文化財調査を行いました

2月16日(水)第3回浜松市文化財保護審議会を開催し、浜北区内指定文化財等の現地確認を行いました。市指定史跡大平城跡では、参加者全員で登山道を登り、本曲輪や堀切の現況を確認しました。



文化財イベント

■3月20日(日)

県指定無形民俗文化財「横尾歌舞伎」

北区みをつくし文化センターホールこけら落とし公演出演

▶北区細江町気賀 ※3/16 東日本大震災のため中止となりました

宮竹野際遺跡の発掘調査が終了しました

2010年7月28日から約7ヶ月間に渡って行われた宮竹野際遺跡(第6次)の発掘調査が2011年3月10日に終了しました。

今回の発掘調査では、掘立柱建物跡(ほったてばしらたてもものあと)1棟と自然河川の跡を確認することができました。掘立柱建物跡は、8つの柱穴が四角に並んでいました。2間×2間の規模で、4つ穴には、柱根(ちゅうこん)が良好に残されていました。また、穴から出土した遺物より、奈良時代の建物であることが分かりました。

自然河川は、時期によって深さや幅が変化していることが分かりました。奈良・平安時代の自然河川は、幅5m深さ50cm程の浅い溝状の河川となり、そこに大量の遺物が投棄されていました。前回までの調査では、自然河川近く



掘立柱建物跡

に掘立柱建物が数棟確認されており、これらの建物群より、遺物が破棄されたものと考えられます。遺物の中には、「北家」と書かれた墨書土器が複数見つかり、施設名との関係を示している可能性があります。

また、発掘調査中、現地説明会(12/19)が行われました。現地説明会では、地元の方をはじめ、100名以上の方が参加しました。説明会において、参加者は、発掘調査で出土した遺物を食い入るように見たり、調査を担当した職員からの説明を熱心に聞いたりして、充実した説明会となりました。近隣の学校にも、遺跡の見学や発掘体験に参加いただきました。



現地説明会

編集後記

ちょうどこの文化財情報を編集集中に、世界最大級のM9.0を記録した東北地方太平洋沖地震が起きました。何度もテレビに映し出される被災地の惨状には、心が痛みます。今もなお、必死の救助活動や安否確認等が続いています。亡くなられた多数の方々のご冥福と、被害に遭われた地域の一刻も早い復旧をお祈りいたします。